

資料2

2009年3月11日 運営委員会

出席者: 広瀬、黒津、仲村、齋藤、巽、長田、井上、中川、小林、谷仲

1. 抗議文、要請文

下記文書を3月4日に提出した

環境資源部部長宛 電動生ごみ処理機販売についての抗議文

町田市長宛 電動生ごみ処理機販売についての検討と21年における普及戦略についての要請文
市長に異論はなかった

2. レジ袋削減協議会

3月19日に開催

インセンティブ・・・ノーレジ袋の店＝有料ごみ袋のバラ売り、販売手数料の増額

レジ袋有料化の店＝有料ごみ袋のバラ売りを認めない

3. 電動生ごみ処理機について

メーカーがバイオ式処理機から撤退しているので21年度に台数がそろわないのではないかと？

山下議員にヤマグチ電気がナショナルの全国の販売店から集められないか聞いてもらっている。

4月以降、普及させるのにどうするつもりなのか？

町田ブランドの処理機を作って、安く提供したら普及するだろう。

4. さくらまつりエコステーション

1月23日産業観光課との話し合いでは、尾根緑道さくら祭りではエコステーションを実施、21年度予算となる
芹ヶ谷公園のさくら祭りのエコステーションは検討中となっていたが、**さくら祭り実行委員会とNPOとで協働
協定を結び、両さくら祭りでエコステーションを実施する。**

昨日、ボランティアの説明会を行い、芹ヶ谷公園さくら祭りに5名の学生ボランティアをおねがいする。ボラン
ティアの保険については防災安全課に問い合わせ中
アクシスのリサイクルレジ袋をさくら祭りで紹介したい。

5. リサイクル広場について

リサイクル広場の話し合いを明日(3/12)市職員とリサイクルセンターでおこなう。

1歩も進められていない、課内で議論していない様子。

6. その他

3月17日にリユース食器を扱っているスペースふうの視察に増穂町へ行く。

資料3

2009/07/29 運営委員会

出席者: 広瀬、小林、中川、仲村、黒津、齋藤、巽、谷仲

1北部丘陵地帯の整備

7月27日にグリーンサービスの■■■■氏のところへ行き相談にのってもらった。グリーンサービスで働いている■■■氏と■■■氏に協力してもらえることになった。31日に再度伺って作業の進め方などのアドバイスをいただく予定。

2エコイベント (リユース食器)

イベントのごみ減量の取り組みサポートは委託事業としてリサイクル公社と契約すると報告があった。

20イベント取り組んだとして契約金38万。7/1まで遡っての契約になるかも。実行委員会とスタッフの確保などを個別に契約することもある。

・成瀬ヶ丘フラワーロードフェスティバル 7/25, 26

7/25中川理事 調査 狭い場所で開催していたが、イベントに取り組める可能性はある

・小山ヶ丘

8/1 黒津理事、■■■さん、■■■さん、■■■さん 実態調査(出店内容や配置図、ごみの分別状況など)

・南町田祭り8/14, 15

地元の高校生を時給1,000円で手伝ってもらう

・ザ・フェスタ栄通り9/6

パレードが中心のイベント、模擬店がある

ブースが1つあるので講演会のPRができる

横断幕を作成し、ボーイスカウトかガールスカウトに持ってあるしてもらう

横断幕の見積もりを依頼中

・第23回フェスタまちだ9/12, 13

8/20に出店者説明会があるので、早急に市、実行委員会、公社、NPOの4社で話し合いがもてるように笠原部長や五十嵐氏に相談している

・ゼルビアでの導入 … 7/24に本部の人に面会し、酒販組合は以前からやる気があるから、ビールだけでも始めてはどうかと提案した。(農業祭説明会(28日)で酒販組合の■■■さんにそのことを話したらいいねと言っていた)

3木曾森野都営住宅での生ごみ処理機導入7/29・・・HPに写真掲載

高齢者が多いので、生ごみを出しに来ることで安否確認をしたいと■■■会長が挨拶。広瀬代表が挨拶し小磯都議も出席した。■■■会長の知り合いの農家で1次生成物を使ってもらい、できた野菜を販売する予定。・・・ここで賑わいの広場もできると思った。小林

職員の馬場・高梨氏の説明会がよかった。

大型生ごみ処理機は桜台団地に現在8台導入されている、今年新たに5台入る

7/28フランス公営テレビの環境開発部署の人が町田の取り組みの取材に来た。生ごみの処理方法の取材で、大型・家庭用生ごみ処理機やリサイクル広場の見学をしていた。スーパー三和で何故こんなに過剰包装なのかと不思議がっていた。それを東京新聞とタウンニュースが取材に来ていた。

4J:COMでの取り組み

■■■さんと連絡をとり、横断幕作成の協賛を依頼した

5真光寺でのリサイクル広場

市の資源回収団体に指定してもらった。キロ6円で引き取り。

市民協働での取り組みということをアピールする。ラミネート加工は市がやってくれ、市村課長はバックアップすると言っている。

9/6開設、NPOの理事から(中川さん)挨拶(励ましの言葉)をしてほしい。

6講演会について

柳生真吾(41)氏、10月18日(日)に決定。

タイトル『素敵な森づくりの話』 小山田小学校に隣接する森の整備 森づくりと環境教育

日本野鳥の会の理事 飯塚市が協力の申し出、講演も見に来たいとのこと

協賛をお願いする =J:COM ゼルビア 玉川学園 野鳥の会 EM窪平 歴環組合 中ロータリー
鶴見川源流の会 恵泉大学 桜美林大学 和光大学 エコネット町田 トヨタ 町田国際交流センター 協賛、後援の
依頼文が8/15までにほしい

7その他

- ・ HPで町田市の取り組みを積極的に紹介する。
- ・ エコステーションのアルバイトだけでなく、ゼロ・ウェイストの他の活動に係る人を増やしていく。
- ・ 簡単なチラシを作って配布し、研修という形で人を集める。エコレジを通して学生を集めてもいい
- ・ エコイベントのパネルづくり・・・8/22までに
- ・ NPO通信3号を準備

7/30町田ブランドの生ごみ処理機の意見交換 リサイクルセンターで16:00から

■■■■氏 安藤部長 NPO(仲村、広瀬、小林、中川、)

市村課長より巽さんにレジ袋削減等協議会のことで「色々なやり方で取り組むのもいいが、有料化でやっていきたいと思っているので、暫く休会する」と電話があった。

次回 8/5 8/12 19:00から 環対協総会 9/30 19:00から センター集会所

資料4

2009年8月5日 運営委員会

出席者: 広瀬、小林、中川、黒津、齋藤、巽、仲村、谷仲

1. 減量等審議会

* プラスチックの削減

プラスチックをできるだけ早くやりたい・・・

次回(9/7 15:00~リサイクルセンター)プラの問題を議論する

焼却炉、大気、環境に悪いから燃やすのは良くない・・・大体一致した意見

個人宅で圧縮できないか

8/4 容り協会へ(広瀬、小林(み)、XXXXXXXXXX、加藤部長、内山課長)行き、先方のトップ3人に面会した。

プラスチックを家庭で1/5に圧縮し、広場のようなところで集めることはできないかとの問いに、従来通り結束して容り法にのせるしかないとの回答だった。食い下がると小さな市町村では袋にいれ圧縮して回収しているところもあるがそんなところも行政が関わらなくてはならず、異物の混入を防ぐため破袋し目視してからもう1度しぼりなおすというやり方をしているとのことだった。

このやり方なら町田でもできると思った。簡単なもの、きれいなものを家庭で圧縮して集める。

リサイクル広場の施策と一致させることが必要。

市民からの提案や意見がほしい。いちごのパックを集めてとか、たまご豆腐の入れ物を集めてとか

* ごみビジョン

広瀬先生がまとめて提案する。

トヨタや環境省の助成金申請でも、2年間でゼロ・ウェイスト宣言をするとしている。

現在でも資源化はやっているし、これに生ごみやプラスチックの資源化ができれば宣言はできる。

宣言・・・燃やさない、埋め立てない、作らせない

数値目標を立てる → 15年までにごみの量を半分にする

拡大生産者責任 → 集めてメーカーに送る(洗剤のスプーンなど) 広場と連動させる

* 地域懇談会

9/25 南市民センター 18:00~ 10/1 堺市民センター 18:00~

10/12 町田市役所 10:00~ 10/13 鶴川市民センター 14:00~

10/21 リサイクルセンター 18:00~

2. 環境省地域支援事業

環境省の事業を取り仕切っているNPOから10日(16:00~16:20)に三菱ビルでのヒアリングに来るよう連絡があった。

この助成金で生ごみ資源化の実験・・・土地を借りて

剪定枝と生ごみ処理機の1次生成物の堆肥

白色ほうせん菌を使った堆肥化

乾燥型生ごみ処理機でできた生成物の堆肥

集め方の問題

8か月で700万 3月に報告書提出

3. イオン・環境助成

3年間連続で助成金がでる。内容: 森、林、田んぼを作る

学識経験者の推薦が必要 → 桜美林大学学長の佐藤東洋士にお願いする

農水省の助成金も来年度申請する予定。内容: 農林漁業の推進

4. 学校林整備事業

7/2、14に北部丘陵整備課と話し合いを行い、学校林整備委託事業を契約することにした。

7/27、31に グリーンサービスの■■■■氏に相談し、地元の■■■さんと■■■さんを紹介してもらって、このお二人に大まかな作業をお願いすることにして見積もりを作成中。

5. 生ごみ処理機についての緊急要請

また、カッカノンノンの募集広告がでた。現在9割補助の対象処理機は1500強あり、そのうち500ぐらいがカッカノンノン。3月に止めるように要請し、市は止めたとしていたが守られていない。安藤部長は来年度からグループの受け皿を町内会やNPOなどにしてグループづくりを制限すると言っている。8/6(8:30~9:25)本庁で安藤部長も同席して副市長に面会し(広瀬、小林、仲村)再度、何らかの手立てをするように要請する。カッカノンノンは資源化の施策にならないので9割補助の対象にしないとしなければ、手遅れになる。出てきたものを何かに使えなければ資源化ではない。ただの減量になってしまう。

減量したとか、資源化したとかではなく、つながりのある関係でグループを作っているかが重要なので、今までの500人のグループがどうなったのかを確認してから次の補助をするように申し入れた方がいい。

フォローアップの対応を考えなければいけない。このままだとこの施策がおかしくなる。

6. イベントのエコ化

分別のアドバイザー派遣 説明会 8/2 ルネグランディア 黒津、中川

8/4 日の出が丘 齊藤、巽

8/5 栄通りフェスティバル 中川、巽

7. その他

- ・横断幕の見積もり 45,000円 『リユース食器でエコイベント』ブルー地に白字 60cm×4.5m
- ・真光寺リサイクル広場 回収業者の選定をしている。ほとんど無料での引き取り。問題はビン。ビンは扱わない方がいいと業者に言われた。
- ・11/21(土) 13:00~17:00 ごみ減量連絡協議会の講演 『生ごみの全量資源化』
市長、瀬戸農工大教授、市職員、市民のはなし
- ・柳生真吾氏の講演 10/18
- ・エコイベントのパネル 3枚50,000で請け負う。パネルの内容を次回までに考える。
エコイベント開催中 リユース食器を使ってくるくる プラスチックの食器は戻して

資料5

2009年8月12日 運営委員会

出席者: 広瀬 小林 巽 齊藤 黒津 中川 谷仲

1. 環境省循環社会支援事業

8/10にヒヤリングがあった。9月中に契約を取り交わす。

リサイクル推進課 課長と担当者、シンクタンクのアセス欄の■■■■氏が同席
審査委員は同席せず。応募54件中7件の採択。

環境省: 町田市民が活動しているのは環境省としてもよく承知している。採択された事業でゴミ問題に取り組んでいるのは1件だけ。この事業が採択されて喜んでいる。町田の動きは注目していて評価したい、飛躍を期待している。

審査委員コメント: 今回の事業がゼロ・ウェイストにつながることを期待している。

(委員の中で1人強力に推薦してくれた人がいたらしい)

事業の契約期間 3月25日まで 予算 700万 3月中旬に大会開催

記者会見: 支援事業に採択されたことを新聞社などに知らせる

町田市の担当部署の人と一緒に会見したほうがいい・・・日程を担当者と調整

2. イベントのエコ化

リサイクル公社からの委託契約であり、協働事業としての契約でないので報告書の著作権は町田市になる。
だからイベントの取り組みをHPに掲載するのは町田市の了解を得てからにしてほしいとの事。

3. 真光寺でのリサイクル広場

9/6に開設 広瀬理事長と中川理事が出席

4. ゼロ・ウェイスト通信No.3

9/10発行 原稿締め切り ?

環境省助成金・・・広瀬 田んぼ再生プロジェクト・・・小林 エコイベント・・・中川
学校教育・・・黒津 リサイクル広場・・・仲村 講演会のお知らせ・・・チラシ
活動報告・・・

5. 講演会(10月18日)について

座談会のタイトル・・・

森をつくった人と、鳥を見つけてきた人と、物理学者が語るまちだの森

チラシ 9/5仕上がり 8/31 再入校

6. その他

- ・環境資源部 ? 課 = 上小山田の■■■■さんのところで生ゴミ処理機の1次生成物と牛ふんで堆肥化実験をする。
- ・北部丘陵整備課(根本) = 学習林の構想について、NPOとの契約後に現校長と前校長に話をする。
- ・ゴミ減量連絡協議会(仲村) = 11/21の講演会で環境省支援事業に採択されたことを報告してほしい
- ・環境省支援事業に採択されたことについて廃棄物減量等推進審議会の後藤先生よりおめでとうと電話があ

った。先生の生ごみ堆肥を見学させてもらいたいと話したら、川崎市民が見学に来るときに一緒にどうぞと言われた。 8/27 14:30から 場所 ?

- 支援事業の生ごみ堆肥・・・実験では生ごみを持ってきてもらって堆肥化するが、実際にやるときには収集することも考慮しておかないと、施策としてなりたたなくなるのではないか

- 生ごみの資源化施策について

8/6に話し合いをもった。(鷺北副市長、安藤部長、市村課長、広瀬、小林、仲村)

今までの経緯を説明し、副市長の見解を求めた。

結果、補助の上限を設けて条項を変更する。

地域でグループ活動ができるように補助金を出しているのだから、その指導をしていく。

消滅型の処理機への対応は難しい。 との回答・・・いままでと何も変わらず

市川市議会議員と会い、この事を9月議会で質問してもらおうように話した。

ごみゼロ市民会議からいままでの経緯を説明した。

資料6

【日 時】2009/10/20 19:00 ~ 22:00

【場 所】下小山田桜台団地集会所

【司 会】小林

【書 記】小山

【出席者】広瀬立成、小林美知、XXXXXXXXXX、齋藤洋子、中川慶子、仲村達郎、谷仲ひろみ、長田道廣、黒津一子、XXXXXX

議 事 内 容

1. 10/18の講演会の総括

- ・来場者は一般293名、招待39名の計332名
- ・受付時間が15分しかなかった為に、3人の受付では少し混乱があった。次回は人数を増やしたり、会場前に多数の並んでいた人にチケットの販売や引渡しを先に行ったりした方が良いだろう。
- ・当日入会して頂いた方は4名いた。チケットの会員割引等の特典を設けたほうが良いだろう。
- ・収支は今後費用の集計などを行うが、チケット収入が38万円程度、トヨタ財団負担分を除く経費が60~70万円程度なので、実質は20~30万円程度持ち出しとなる見通し。
- ・本NPOや事業内容・意義に対する認知度が大きく向上し、講演会は大成功であった。

2. 環境省委託事業(生ごみ堆肥化)について

- ・後藤先生が現在、生ごみ一次生成物を検査中。事前の下見では、「そのまま田や畑に投入できそう」との事。
- ・作成した堆肥を投入して、作物を試験栽培する畑を谷合さんから借りることにした(約40m²)。・栽培期間が冬季になるが、そのままかビニールハウスにすれば3月までに栽培可能との事。
- ・栽培前に、後藤先生が畑の土壌検査をする(10月27日)。
- ・生ごみ一次生成物と土壌の検査結果から、堆肥化プランを後藤先生に出してもらおう。
- ・一次生成物の収集方法を議論した。

3. 環境省委託事業(東谷戸田んぼ再生)について

- ・学生ボランティアの以外に、谷合さん・北林さんに田んぼの整備をお願いしている(時給1500円で週5~6時間程度)。予算的には十分間に合うので、これで進める。
- ・学生ボランティアの作業は、年内に3回(10月24日、11月7日、11月21日)田んぼの整備、年明けに資材用竹きりを行う。

4. ハチドリ教室事業化について

- ・黒津から、来年度からのハチドリ教室の事業化素案を提出(内容は別紙)。初年度35万円、翌年度10万円程度の赤字程度なので、NPOから予算を付けてもらいたいと提案。
- ・事業を進める事には、おおよそ賛成。・収入プランとしては、学校から直接お金を頂くのは難しいかもしれないが、学校側にあるボランティア予算を有効に使ってもらえる可能性はある。行政・教育委員会などを通じて予算をつけてもらう道を検討する。
- ・一時的な支出(マスター教材の作成など)は、助成金など応募して獲得を目指す。
- ・小学校校長会など、積極的にアピールした方が良い。・本年度残り3回程度は、トヨタプロジェクトの費用から拠出する。

5. 分別ステーション

- ・10月24日産業祭で補助業務。ここではリユース食器を1200個使用する。
- ・11月15日農業祭では、分別ステーションの運営を行う。参加者募集中。
- ・10~11月は、各地の大学祭でイベント調査を行う(8校程度)。

6. プラスチック問題市民懇談会

- ・明日10月21日午後7:00より、忠生リサイクルセンターで、上記懇談会が開催されるので、参加できる人は是非参加をお願いした。
- ・町田市は、容器包装法の枠組みで処理を進めたいが、プラスチック問題を審議会としてどの様に取り扱うかは、

未だ色々の意見が出ており、まとまってはいはない。

7. トヨタ財団ゼロ・ウェイスト協議会の開催について

- ・11月25日19:00～、本日開催された下小山田桜台団地集会所にて行う。
- ・協議会での内容に関しては、次回運営委員会にて検討する。

8. NPOの運営体制について

- ・今回は討議する時間が取れず、次回に持ち越しとなった。
- ・今月中に中期会計報告をまとめる(■■■■・谷仲)。

9. 環境省プロジェクト執行委員会

- ・10月27日10:00～11:30に開催。開催場所は担当者間で打ち合わせること。
- ・プロジェクトスケジュールなど、詳細を決めていく予定。

10. 生ごみ…市民集会

- ・仲村さん開催の「生ごみの有効活用に取り組んでみよう会」が健康福社会館で11月21日に開催される。東谷戸の作業と重なるが、出られる人は是非参加を。

11. 次回・次回運営委員会は11月11日(水)とする。

- ・議長・書記は、齋藤・巽に交代。